


広報

かんべ

発行日 平成27年1月15日第104号

編集・発行 神戸地区市民センター

(神戸公民館・神戸地区住民自治協議会)

電話・FAX 38-1300

E-mail kanb-a15@ict.ne.jp

URL <http://www.ict.ne.jp/~kanb-a15/>

神戸住民自治

検索



神戸地区人権講演会のご案内



●演題

「苦しい時が登り坂



楽な時が下り坂」

●講師 (上方落語協会所属)

はやし や そめ た

林家染太さん

◆林家染太さんのプロフィール◆

1975年10月5日生まれ

愛媛県松山市出身

本名 荻山志行 (おぎやましこう)

大学卒業後、4代目林家染丸に入門

天満天神繁昌亭をホームグラウンドに

古典落語から新作落語までこなす

英語落語で海外でも公演を行う

テレビやラジオでも活躍中!

と き：2015年2月1日(日)

午前10時～11時30分



(受付9時30分～)

ところ：神戸小学校 体育館

※皆様お誘いあわせの上、お気軽にご参加ください

主催：神戸地区人権啓発草の根運動推進会議

共催：神戸地区住民自治協議会、三重県伊賀県民センター

「落語」と
「講演」の
2部構成です!

神戸地区社会福祉協議会

「支え合いネットワーク」視察研修を終えて

研修日：平成26年12月16日（火） 視察先：滋賀県高島市社会福祉協議会

参加者：神戸地区社会福祉協議会構成員21名

（神戸地区住民自治協議会会長、区長、民生委員、福祉協力委員他）

今年度事業の一つとして、小地域福祉活動推進の先進地である高島市社会福祉協議会へ研修に行きました。

高島市は2005年に5町1村が合併した人口5万人あまりの都市です。社会福祉協議会も広域合併して高島市社会福祉協議会が誕生しました。

最初の取り組みは「日常の助け合い、支え合いが自然と行える区、自治会」を基盤に福祉推進委員会の組織づくりを進め、約9割設置出来たが活動が発展しなかったようです。

このため4年前に「サロン・見守り・生活支援」を3大事業と位置づけ、小地域福祉活動への支援を重点に進めた結果、地域住民がサロンなどの交流のできる居場所（カフェ）づくり、気づき、困り事への対応（生活支援）へと発展させ、活発に活動している数地区の事例をお聞きしました。予防的実践の大切さを柱に「日常的に支援」はもとより、「いざという時助け合える」見守り隊を作る。更には高齢化・少子化が進むなか、地区として「孤立死をなくそう」、「徘徊に対応できるまちづくり」といった切実な取り組みなども聞いてきました。

神戸地区においては昨年7月に「支え合いネットワーク」がスタートし、早くも1年余りが経ちました。取り組みの違いがありますが各地区の区長さんを中心に地域会議を設置し、地区の課題や取り組みの方向性などの協議を始めています。

高齢化がいつそう進む中、今回研修を受けた内容を参考に「将来の自分たちの問題」であるという認識を持ち、みんなで話し合い、支え合いの基盤をつくり、できることから活動する等、誰もが住みなれた地域の中で安心して暮らし続けられるまちづくりを目指し、進めて行きたいと考えていますので皆様方のご協力をお願い致します。

神戸地区社会福祉協議会 堀永 猛



神戸地区市民センター事務員募集に関する提出日変更について

「広報かんべ1月1日号」で神戸地区市民センター事務員を募集しましたが、一部変更がありましたのでお知らせします。

変更内容は 履歴書の提出期限で、下記のとおりです。市役所への提出期限があるため予定していた期限より早くなりましたので、応募される方はお間違えのないようお願い致します。

★変更前：2月12日（木）までに神戸地区市民センターへ履歴書を提出してください。



★変更後：1月26日（月）までに神戸地区市民センターへ履歴書を提出してください。

次回のかんべいきいき市（農産物直売所）は 2月7日（土）です！

- ・午前 9時00分～10時00分 JA 神戸ふれあい店前
- ・午前 10時15分～10時45分 朝日ヶ丘町公民館前
- ・午前 11時00分～11時30分 きじが台地区市民センター前

